中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Mの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である　　後鳥羽上皇（後鳥羽天皇・後鳥羽院 でも正解）

(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という　　封建制度

(3) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である　　源義経

(4) 御成敗式目が定められたのは（　　）である　　1232年

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　執権

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である　　時宗

(7) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である　　北条時宗

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　徒然草

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　永仁の徳政令（徳政令 でも正解）

(10) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という　　倭寇

(11) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ　　後醍醐天皇

(12) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という　　守護大名

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　　中継貿易

(14) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　　アイヌ民族（アイヌ・アイヌの人々 でも正解）

(15) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ　　足利義政

(16) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ　　正長の土一揆（正長の徳政一揆 でも正解）

(17) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という　　馬借

(18) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　　戦国大名

(19) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　　雪舟

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　能（能楽 でも正解）